



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 コメ兵
コード番号 2780 URL <http://www.komehyo.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 司郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鳥田 一利

TEL 052-249-5366

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 7,509 | — | 304 | — | 302 | — | 176 | — |
| 24年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 173百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 16.12 | — |
| 24年3月期第1四半期 | — | — |

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 19,038 | 12,467 | 65.5 | 1,137.92 |
| 24年3月期 | 18,912 | 12,381 | 65.5 | 1,130.04 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,467百万円 24年3月期 12,381百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 15,105 | — | 382 | — | 377 | — | 220 | — | 20.12 |
| 通期 | 32,287 | 11.7 | 1,592 | 16.4 | 1,582 | 15.6 | 913 | 20.0 | 83.37 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期第2四半期は連結子会社が存在しなかったため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 25年3月期1Q | 11,257,000 株 | 24年3月期 | 11,257,000 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 25年3月期1Q | 300,369 株 | 24年3月期 | 300,369 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|-----|
| 25年3月期1Q | 10,956,631 株 | 24年3月期1Q | — 株 |
|----------|--------------|----------|-----|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興特需等を背景に回復の兆しが見られるものの、欧州の財政金融不安や新興国経済の停滞等に伴う海外経済の減速、デフレの長期化や厳しい雇用環境が継続していること等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

リユース業界におきましては、消費者の低価格志向が高まったこと、及び、循環型社会への移行により業界全体が注目を浴び、生活用品・低額品の需要が堅調に推移したことに加え、個人消費の緩やかな回復に伴い、高額品や嗜好品は徐々に持ち直しの動きが見られました。また、インターネットによる中古品売買の普及・拡大に加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、様々な要因により買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような環境の下、当社グループは組織力の強化、販売力の強化、販促活動の拡充、オンラインストアの強化、内部統制の推進、教育制度の充実等、様々な経営施策に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。また、リユース品流通の活性化によるリユース市場の拡大を目的として業者向けオークション「レストランオークション by KOMETHYO」の開催を決定し、それに伴い、オークション運営を行う「株式会社KOMETHYOオークション」を平成24年6月に設立いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,509百万円、営業利益は304百万円、経常利益は302百万円、四半期純利益は176百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、「ブランドリユースショップ」7店舗、「買取センター」3店舗、「LINK SMILE」5店舗、及び「USED MARKET」1店舗であります。

中古品仕入高につきましては、TVCM等による積極的な買取促進や適正な買取価格の設定等により、個人買取が概ね順調に推移したことから、個人買取仕入高は2,988百万円となりました。

売上高につきましては、創業65周年にちなんだ販促活動の効果に加え、中古品仕入が順調に推移したこと、及び、商品センターの稼働に伴い商品供給体制が確立したことによる売場商品の魅力度向上等により好調に推移いたしました。

利益面につきましては、積極的な販促活動に伴う広告宣伝費の増加に加え、店舗出店準備等に伴う人件費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費が増加したものの、適正な買取及び販売価格の設定、中古品の売上高構成比率の向上に引き続き注力したこと等により、売上総利益を確保できたことから、利益面は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は6,668百万円、営業利益は261百万円となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ・ホイール事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、12店舗であります。

売上高につきましては、積極的な販促活動やオンラインストアのリニューアル等により、新品のアルミホイールが好調に推移したことに加え、買取及び下取りの強化に伴い中古品商材が充実したこと等により、中古品のタイヤ及びアルミホイールが好調に推移いたしました。

利益面につきましては、オンラインストアのリニューアル準備等に伴う人件費の増加等の影響により、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高が好調に推移したことにより売上総利益を確保できたことから、利益面は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は830百万円、営業利益は35百万円となりました。

③ その他の事業

当第1四半期連結会計期間末の当社所有の不動産賃貸物件は3カ所であります。

当第1四半期連結累計期間の当セグメント売上高は10百万円、営業利益は7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が242百万円減少し、たな卸資産が337百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は6,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、19,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が700百万円増加し、未払法人税等が374百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,433百万円となり、前事業年度末に比べ213百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が209百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,570百万円となり、前連結会計年度に比べ39百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は12,467百万円となり、四半期純利益の確保等により前連結会計年度末に比べ86百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は65.5%（前連結会計年度末は65.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成24年6月に株式会社KOMEHYOオークションを設立し、中古品取扱業者向けのオークションを開催することといたしました。なお、本件による平成25年3月期業績に与える影響は軽微となる見通しであります。また、7月に「コメ兵大宮東口店」（さいたま市大宮区）と「買取センター原宿」（東京都渋谷区）、8月に「USED MARKET長野店」（長野県長野市）をそれぞれオープンし、出店計画も順調に推移していることから、当社グループ平成25年3月期の連結業績予想につきましては、引き続き平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

これは当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図り、四半期決算における迅速性に対応するためであります。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,905,155 | 1,662,340 |
| 売掛金 | 1,180,303 | 1,257,082 |
| たな卸資産 | 7,984,960 | 8,322,368 |
| その他 | 1,167,977 | 1,124,104 |
| 流動資産合計 | 12,238,397 | 12,365,895 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,467,128 | 2,436,751 |
| 土地 | 1,472,871 | 1,472,871 |
| その他（純額） | 462,556 | 450,871 |
| 有形固定資産合計 | 4,402,557 | 4,360,495 |
| 無形固定資産 | 399,220 | 444,049 |
| 投資その他の資産 | 1,872,586 | 1,867,903 |
| 固定資産合計 | 6,674,364 | 6,672,447 |
| 資産合計 | 18,912,761 | 19,038,343 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 595,348 | 465,762 |
| 短期借入金 | 750,000 | 1,450,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 924,684 | 898,985 |
| 未払法人税等 | 499,168 | 124,339 |
| 賞与引当金 | 283,123 | 354,875 |
| 役員賞与引当金 | 11,440 | — |
| 商品保証引当金 | 4,409 | 4,904 |
| ポイント引当金 | 24,539 | 28,528 |
| 資産除去債務 | 11,536 | 11,546 |
| その他 | 779,514 | 797,918 |
| 流動負債合計 | 3,883,763 | 4,136,859 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,611,712 | 1,402,585 |
| 退職給付引当金 | 199,663 | 219,652 |
| 役員退職慰労引当金 | 436,995 | 433,530 |
| 商品保証引当金 | 2,098 | 2,004 |
| ポイント引当金 | 21,079 | 20,307 |
| 資産除去債務 | 62,043 | 62,346 |
| その他 | 313,948 | 293,291 |
| 固定負債合計 | 2,647,540 | 2,433,718 |
| 負債合計 | 6,531,304 | 6,570,578 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,803,780 | 1,803,780 |
| 資本剰余金 | 1,909,872 | 1,909,872 |
| 利益剰余金 | 8,742,875 | 8,831,822 |
| 自己株式 | △80,066 | △80,066 |
| 株主資本合計 | 12,376,460 | 12,465,408 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,996 | 2,356 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,996 | 2,356 |
| 純資産合計 | 12,381,457 | 12,467,765 |
| 負債純資産合計 | 18,912,761 | 19,038,343 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 7,509,884 |
| 売上原価 | 5,084,793 |
| 売上総利益 | 2,425,091 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,120,338 |
| 営業利益 | 304,752 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 363 |
| 受取配当金 | 847 |
| 受取手数料 | 1,916 |
| 助成金収入 | 980 |
| その他 | 309 |
| 営業外収益合計 | 4,416 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 6,907 |
| その他 | 100 |
| 営業外費用合計 | 7,007 |
| 経常利益 | 302,161 |
| 特別利益 | |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 1,758 |
| 特別利益合計 | 1,758 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 14,083 |
| 特別損失合計 | 14,083 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 289,836 |
| 法人税等 | 113,236 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 176,600 |
| 四半期純利益 | 176,600 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日
至平成24年6月30日)

| | |
|-----------------|---------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 176,600 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,639 |
| その他の包括利益合計 | △2,639 |
| 四半期包括利益 | 173,961 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 173,961 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。